

NO.28



あやめ通信



大人版
7月号

小説

永倉新八『新撰組顛末記』

青柳碧人『乱歩と千畝』

高瀬乃一『往来絵巻』

長月天音『ほどなく、お別れです 1』

谷川俊太郎『今日は昨日のつづき』

長月天音『ほどなく、お別れです 2』

塩田武士『踊りつかれて』

長月天音『ほどなく、お別れです 3』

はらだみずき『山に抱かれた家 迷い道』

実用書

菊池雅之『陸・海・空自衛隊装備図鑑2025-2026』

日外アソシエーツ株式会社『都道府県別災害年表事典 北海道』

小林国之『牛乳から世界がかわる』

五十嵐美樹『わたし、サイエンスエンターテイナーになる！』

朝日新聞社『今さら聞けない日本政治の超基本』

今月の1冊

三宅香帆

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』

本を読まない・読めない理由としてよく聞こえるのが、「仕事が(あるいは学校が)忙しい」。その一方でスマホゲームやSNSに割く時間はあるようで。かくいう私も覚えがあり、本書を手に取りました。

結論から言うと、本書は「仕事や学校で忙しい中でも本を読むことが出来る読書術のハウツー本」ではありませんでした。明治時代まで遡り、各時代のベストセラーと労働を研究し、日本社会における読書の役割について論じ、「働きながら本を読める社会」の作り方を考えた本です。「忙しくて本が読めない」問題の対症療法でなく根本治療について考える本ではないかと思います。「タイトルから想像した内容と違う」と思っても、ぜひ最後まで読んでみてください。

蛇足ではありますが、巻末の参考文献一覧をめぐってみてください。なかなか類を見ない参考文献の多さです。本文中の引用も多く、著者のすさまじい読書量が伺えます。

学文ニュース

こどもたちに読んでほしい200冊展示

令和6年度までの「北海道青少年のための200冊」は今年度から「こどもたちに読んでほしい200冊」に名称が変更されました。

この展示では、幼児から青年までの各世代にあわせたおすすめの本を展示しています。幼児から中学生向けまでは児童書コーナーの奥に、高校生から青年向けは文庫新刊の下棚にございます。

ぜひお子様の本選びの参考にするだけでなく、ご自身の読書にもご活用ください。



↑幼児から中学生向けのコーナー

舞台『燃えよ剣』

7/28(月)18:30開演

十朱幸代の語りと宮川彬良のピアノでお届けするのは、司馬遼太郎『燃えよ剣』。激動の時代を背景に新選組副長 土方歳三との熱い恋を生きた女”お雪”の物語をお楽しみください。

前売りチケットは長万部町教育委員会(長万部町役場2階)と学習文化センターで販売しております。

当日は図書館休館日のため、本の貸出・返却等は受け付けておりません。ご了承ください。

7月のカレンダー

定休日:毎週月曜日

開館時間:10:00~18:00

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
	休館日					
6	7	8	9	10	11	12
	休館日					
13	14	15	16	17	18	19
	休館日					
20	21	22	23	24	25	26
	休館日					
27	28 図書館休館 舞台 『燃えよ剣』	29	30	31		